

学校案内

School Guide



徳島県鳴門病院附属看護専門学校

保健・医療・福祉の向上と地域医療に 貢献できる有能な人材を育てます



徳島県鳴門病院附属看護専門学校
学校長 邊見 達彦

ごあいさつ

本校を目指すあなたたちに。私たちは、あなたたちを医療の世界に貢献する看護師に育てあげます。プロフェッショナル看護師には深い医学知識と確かな看護技術に加え、疾病に苦しむ患者様の心に寄り添う優しい気持ちが必要です。この高みを目指す志高い皆様を待っています。

教育理念

本校は地域住民の健康の担い手として、人々が身体的、精神的、社会的に能力を最大限に発揮し、その人らしく社会生活が営めるよう支援できる看護の実践者を育成する。

教育目的

看護師として必要な基礎的知識、技術、態度を習得し、保健・医療・福祉の向上と地域社会に貢献できる有能な人材を育成する。

アドミッション・ポリシー(入学者の受け入れ方針)

- (1) 看護師になりたいという意志がある人
- (2) 学習習慣が身に付いていて、主体的に学び続けられる人
- (3) 看護を学ぶ基礎学力とこれまでの経験を基に、広い視野と向上心を持てる人
- (4) 人に関心を持ち、他者と協調して人間関係を構築できる人
- (5) マナーやルールを守り、挨拶ができ、責任ある行動がとれる人

ディプロマ・ポリシー(卒業認定、専門士授与の方針)

- (1) 豊かな感性を養い、創造性を高めることができる。
- (2) 対象を身体的、精神的、社会的側面から統一体として捉え、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。
- (3) 対象の健康上の問題について看護チーム間での調整の役割がとれる。
- (4) 自己の看護観を明確にし、専門職業人として倫理に基づいた行動がとれる。
- (5) 環境の変化や社会の動向に関心を持ち、国際的視野に立って活躍できる基盤をもつ。
- (6) 保健・医療・福祉チームにおける看護の機能、役割を認識し地域住民の福祉の向上と生活の安定にむけて活躍できる。

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成、実施の方針)

- (1) 看護の対象である人間を総合的に理解でき、尊重する態度を身につける。
- (2) あらゆる健康レベルの対象や発達段階にある対象が快適な生活ができるよう、科学的思考を用いて看護が実践できる。
- (3) 保健・医療・福祉におけるチームの一員として、看護の役割を果たすことができる。
- (4) 専門職業人としての自覚を持ち、常に自己研鑽する態度を身につける。
- (5) 人間愛を基盤にした調和のとれた幅広い人間性を身につける。
- (6) 教育理念に基づき、地域住民の福祉の向上に寄与できる。



昭和29年10月	健康保険鳴門病院付属准看護学院を設置
昭和48年 3月	健康保険鳴門病院付属准看護学院として18年間、380余名の卒業者を送り出し廃校とする
昭和48年 9月	健康保険鳴門病院付属高等看護学院(全日制・2年課程)開校
昭和52年 2月	健康保険鳴門病院付属高等看護学院(全日制・3年課程)第一部併設の許可となる
昭和52年 4月	健康保険鳴門病院付属高等看護学院第一部新設にともない2年課程は第二部として改称され、健康保険鳴門病院付属高等看護学院第一部、第二部として発足する 同学院新校舎竣工
昭和52年 9月	専修学校として発足し健康保険鳴門看護専門学校と改称
昭和54年 3月	健康保険鳴門看護専門学校第二部(全日制・2年課程)閉校
昭和54年 4月	健康保険鳴門看護専門学校3年課程のみとなる
平成 2年 4月	改正カリキュラムによる教育を開始する
平成 5年 4月	推薦入学制度を導入する
平成 7年 2月	文部省告示により専門士の称号を付与される。
平成 7年 4月	新校舎及び体育館並びに学生寮竣工を機に学生一学年定員45名に増員 総定員135名とする
平成 9年 4月	カリキュラム変更により学則を変更する
平成13年 4月	学生一学年定員40名に変更し、総定員120名とする
平成14年 4月	法改正により、性別によって異なっていた看護婦(看護師)から看護師に名称変更される
平成21年 4月	カリキュラム変更による学則を変更する
平成25年 4月	学校名を「徳島県鳴門病院附属看護専門学校」と改称し学則を変更する
令和 4年 4月	改正カリキュラムによる教育を開始する

入学から卒業まで3年間の学校生活と主な行事予定

	1 年	2 年	3 年
4月	●入学式 ●健康診断 ●鳴門探検	●健康診断 ●就職活動セミナー	●上級救命講習 ●健康診断 ●就職活動セミナー
5月	●ナイチンゲール祭	●基礎看護学実習Ⅱ ●ナイチンゲール祭	●精神看護学実習 ●ナイチンゲール祭
6月			
7月	●事例研究発表会	●事例研究発表会 ●ホームカミングデイ	●事例研究発表会 ●ホームカミングデイ
8月	●夏季休暇	●夏季休暇 ●オープンキャンパス	●夏季休暇
9月	●災害訓練	●災害訓練	●医療安全研修 ●県民のつどい
10月	●点火・宣誓式	●領域別実習開始 ●小児看護学実習 ●老年看護学実習	●統合実習
11月	●学生祭(鳴門病院まつり) ●実習前コミュニケーション・マナー講座	●学生祭(鳴門病院まつり)	●学生祭(鳴門病院まつり)
12月	●徳島県 看護学生研究発表会 ●基礎看護学実習Ⅰ ●人権研修	●徳島県 看護学生研究発表会 ●人権研修	●徳島県 看護学生研究発表会 ●人権研修
1月	●冬季休暇	●冬季休暇	●冬季休暇
2月	●国際セミナー ●スタートアップ講座 ●地域・在宅看護論実習Ⅰ	●スタートアップ講座	●看護師国家試験 ●看護協会卒業研修
3月	●春季休暇 ●キャリア形成セミナー	●春季休暇 ●キャリア形成セミナー	●卒業式

◎年間通じてボランティア活動をしています

教育内容

3年間で「看護師」になるために多くのことを学びます。

基礎分野

「科学的思考の基盤」と「人間と生活・社会の理解」とし、専門基礎分野および専門分野の基礎として位置付け、看護職に必要な科学的根拠を用いた看護を実践するための基礎的知識を身に付け、人間を多角的に理解する能力を養う内容としています。また、感性豊かな人間性を育み、幅広いものの見方、考え方を身に付け、想像力を養うと共にコミュニケーション能力を高め、国際化へ対応しうる能力や情報を活用するための基礎的能力を養う内容としています。

科学的思考の基盤●心理学／教育学／物理学／統計学／看護情報学(情報科学・通信技術)／生物学／化学／論理学／哲学
人間と生活・社会の理解●人間関係論Ⅰ／人間関係論Ⅱ／国文学／社会学／外国語(英語)／保健体育／ストレスマネジメント

専門基礎分野

「人体の構造と機能」「疾病の成り立ちと回復の促進」「健康支援と社会保障制度」を学ぶ分野とし、専門分野の基盤として位置付けています。

「人体の構造と機能」では基礎分野で培った知識をもとに、健康・疾病・障害に関する観察力、判断力を養い、臨床判断能力の基盤を強化できる内容とし、「疾病の成り立ちと回復の促進」では、看護が人間の生命の営みを助ける重要な意味を持つことを理解し、看護援助の根拠を学ぶ内容としています。また、「健康支援と社会保障制度」では、保健・医療・福祉に関する基本概念、関係制度、関連する職種の役割を理解し、人々が生涯を通じて健康や障害の状態に応じて社会資源を活用できるように必要な知識と基礎的な能力を養う内容としています。

人体の構造と機能●解剖生理学Ⅰ・Ⅱ／病態生理学／病理学／生化学／栄養学／臨床薬理学／微生物学／臨床検査
疾病の成り立ちと回復の促進●疾病論Ⅰ／疾病論Ⅱ／疾病論Ⅲ／疾病論Ⅳ／疾病論Ⅴ／疾病論Ⅵ
健康支援と社会保障制度●保健医療論／公衆衛生学／社会福祉学／医療と経営／関係法規Ⅰ／関係法規Ⅱ

専門分野

「基礎看護学」「地域・在宅看護論」「成人看護学」「老年看護学」「小児看護学」「母性看護学」「精神看護学」「看護の統合と実践」で構成されています。

「基礎看護学」「地域・在宅看護論」「精神看護学」では、基礎分野の科目を土台とし、専門基礎分野の学習をふまえ、看護の対象の理解、人間の健康の意義、保健医療福祉における看護の機能と役割について理解し、看護実践の基礎となる知識、技術、態度を習得します。

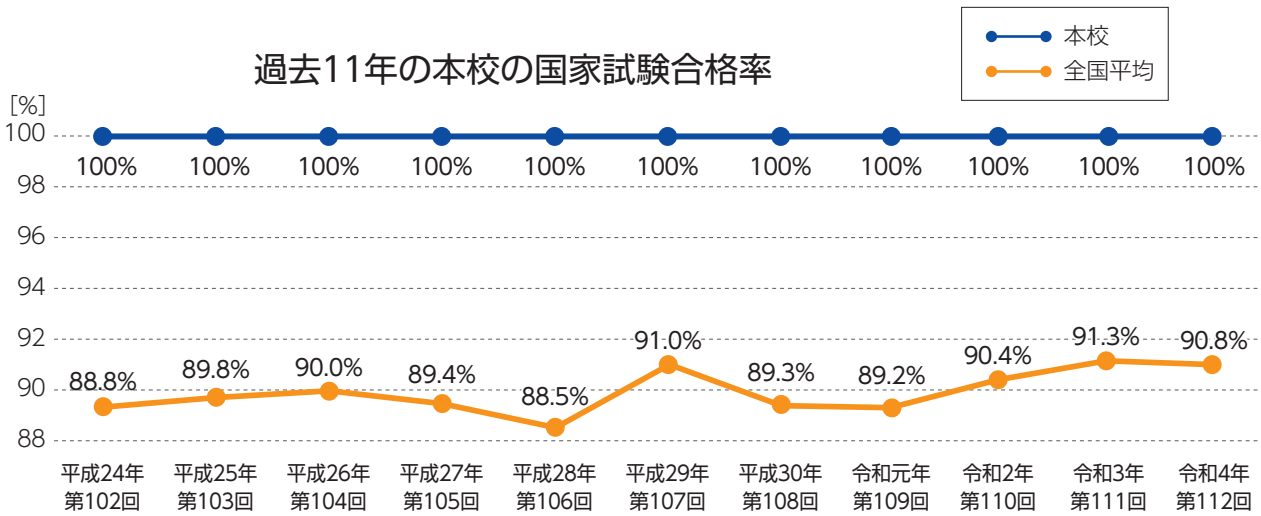
「成人看護学」「老年看護学」「小児看護学」「母性看護学」は、成長発達に応じた各期の特徴とその健康上の問題を明らかにし、その多様なニーズや特徴をふまえながら、対象や家族に応じた看護ができる基礎的能力を育成します。特に、看護実践能力の向上を図るために学内での演習を強化し臨地実習では看護上の課題を抱えた人の看護を、主に併設の医療施設で行い、他職種との連携・協働を図りながら実践できるようにします。

「統合と実践」では、組織における看護師の役割の理解、あらゆる対象の健康状態に応じて回復を支援できる能力や、看護研究の基本的知識・態度を習得し、看護を多角的視点から考察し、質の高い看護を追求する能力、救急時・災害時に適切な判断・対応ができる能力を養う内容としています。

基礎看護学●基礎看護学Ⅰ／基礎看護学Ⅱ／基礎看護学Ⅲ／基礎看護学Ⅳ／基礎看護学Ⅴ
地域・在宅看護論●地域・在宅看護論Ⅰ／地域・在宅看護論Ⅱ／地域・在宅看護論Ⅲ
成人看護学●成人看護学Ⅰ／成人看護学Ⅱ／成人看護学Ⅲ／成人看護学Ⅳ／成人看護学Ⅴ
老年看護学●老年看護学Ⅰ／老年看護学Ⅱ／老年看護学Ⅲ
小児看護学●小児看護学Ⅰ／小児看護学Ⅱ／小児看護学Ⅲ
母性看護学●母性看護学Ⅰ／母性看護学Ⅱ／母性看護学Ⅲ
精神看護学●精神看護学Ⅰ／精神看護学Ⅱ／精神看護学Ⅲ
看護の統合と実践●看護の統合と実践Ⅰ／看護の統合と実践Ⅱ／看護の統合と実践Ⅲ／看護の統合と実践Ⅳ／看護の統合と実践Ⅴ
臨地実習●基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ／地域・在宅看護論実習Ⅰ／地域・在宅看護論実習Ⅱ／成人・老年看護学実習／小児看護学実習／母性看護学実習／精神看護学実習／統合実習



看護師国家試験合格率 過去11年では100%の実績です。



卒業後の進路

就職では徳島県内が90%を占めています。
進学では保健師・助産師をめざします。

就職

徳島県鳴門病院／徳島県立病院／徳島大学病院／徳島赤十字病院／ひのみね総合医療センター
国立病院機構東徳島医療センター／つるぎ町立半田病院／阿南医療センター／吉野川医療センター
阿波病院／田岡病院／きたじま田岡病院／手束病院／近藤内科病院／川島病院 等

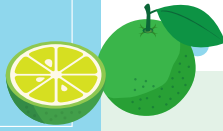
進学

徳島大学医学部 保健学科 3年次編入／愛媛大学医学部 看護学科 3年次編入
徳島文理大学 助産学専攻科（4年制大卒の者）／高知大学医学部 看護学科 3年次編入
神戸市立大学看護学部 3年次編入／洛和会京都厚生学校／兵庫県総合衛生学院

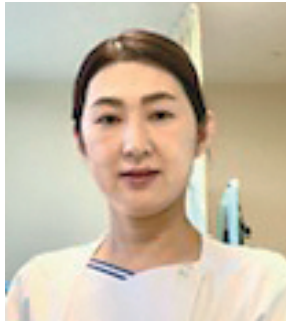
●統合実習前演習

高度化・多様化する臨床現場に対応できる「実践力」を備えた看護師の育成を目指して、平成23年より、3年次後期の統合実習前にOSCE(Objective Structured Clinical Examination：客観的臨床能力試験)を行っています。学生は看護技術の練習とシミュレーションをグループ単位で積み重ね、多重課題・時間切迫・業務割り込みといった状況下で、自己の力量の判断ならびに優先順位の設定、他者への協力依頼が適切に行えるよう学習しています。教員が患者や看護師に扮し臨床現場により近い状況を作り取り組んでいます。





がん化学療法認定看護師
林 江里佳 さん
(2002年度卒業生)
徳島県鳴門病院 勤務



がん化学療法に関する最新の知識と技術を用いて、多様な患者さんや家族のニーズに対応し、患者さんの QOL の維持・向上を図ると共に、がん化学療法に対する看護の質向上に貢献しています。抗がん剤の管理、投与中のモニタリングと対応、抗がん剤による副作用の症状マネジメント、治療中の生活相談など、がん化学療法を受ける患者さんや家族の方が安全に安心して治療を受けていただけるような看護を行っています。

集中ケア認定看護師
石川 龍一 さん
(2005年度卒業生)
徳島県鳴門病院 勤務



ICU に入室した方は、病状も環境もつらい状況に置かれています。

ICU という環境は、容態が変わっても対応できるように壁の少ない開放的なつくりであるため、常に音や光に溢れています。私は、つらい病状や特殊な環境に配慮し、一人ひとりの患者さんに応じた看護を行っています。入室した時から退院を見据えて療養上の世話をさせていただくことで、患者さんの痛みをできるだけ減らし、ICU に入室することによる副作用の予防に努め、病状の変化にいち早く気付けるよう専門的な知識を用いて継続的な看護を行います。

糖尿病看護認定看護師
中野 真希 さん
(2011年度卒業生)
徳島県鳴門病院 勤務



糖尿病をもつ患者さんや家族に対する療養指導やフットケアを行っています。糖尿病の治療は内服薬やインスリン注射といった薬物療法だけでなく、食事療法や運動療法も重要となります。また糖尿病は慢性疾患のため、治療を続けていく必要があります。患者さんが糖尿病やその治療について知り、食事や運動、服薬やインスリン注射といった治療を生活の中に組み込めるように調整していかなければいけません。患者さんの思いを大事に、糖尿病とともに生きる患者さんの生活を患者さんと一緒に考え支援しています。合併症の発症や悪化を予防し、血糖コントロールを行うために理学療法士や管理栄養士などコメディカルとの連携を行います。また看護師の知識向上のため研修会を行っています。

高齢化・多様化する社会で、患者さんが治療を続けながら QOL を維持し、その人らしい生活を送ることができるよう、専門的な知識、技術を用いてサポートしています。

加藤 優莉 さん
(2019年度卒業生)
徳島県鳴門病院 勤務



看護学校を卒業後、徳島県鳴門病院に入職し1年半は整形外科病棟で働き、現在は内科病棟で働いています。

整形外科病棟では、手術を受け自宅に退院される患者さんが多く入院されているため、手術後の看護や、日常生活動作の向上・拡大を図り、退院に向けての看護を実践しています。患者さんの回復が目に見えてわかることも多く、できることが増えていく患者さんの姿を見られたときにはやりがいを感じます。

患者さんは一人ひとり疾患や病状が違い、それぞれに合わせた看護が重要です。何年経っても学ぶことが多く、勉強の日々です。今後も患者さんとその家族の気持ちに寄り添い、安心・安全な入院生活を送れるように援助していきたいと思っています。

三寶 彩佳 さん

(2021 年度卒業)

徳島県鳴門病院 勤務



看護学校を卒業後、早2年が経ち、現在では、夜勤も実施しています。多くの看護業務が大変で、まだまだ分からないことや不安に感じることも多くありますが、先輩看護師に相談し、サポートしていただきながら、日々の看護に取り組んでいます。看護学校で共に学んだ同級生とも分からなかったことを休憩中に調べたり、先輩に教えていただいたことや、経験させていただいたことを情報共有したりして共に助け合いながら頑張っています。

また、様々な患者さんとの関わりの中で、ケアの後や退院する際に「ありがとう。」と言っていたことや、患者さんが元気になっていく姿に励まされ、看護師という仕事にやりがいをもって働くことができています。幅広い視野をもって看護実践できるように頑張ります。

松家 希歩 さん

(2022 年度卒業生)

徳島県鳴門病院 勤務



私は、看護専門学校を卒業後、徳島県鳴門病院で働いています。今年から新人看護師研修制度が始まり、外来や救急室、病棟での研修など多くのことを学習します。外来は病院の入り口と言われ、最初に患者さまを受け入れる場所であると同時に、患者さんが継続して治療することができるように支援する役割があります。各外来の研修では、患者さんの入院から退院までの連携や退院後の支援について学ぶことができています。

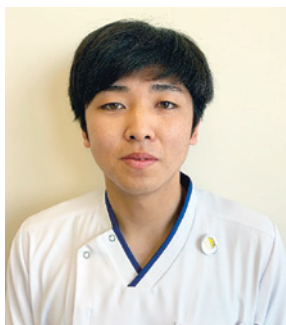
わからないことが多く、知識や技術不足を痛感する毎日です。国家試験のときにたくさん勉強しましたが、あくまでも基本であり、プラスアルファの知識が必要であると気付かされました。研修生同士でわからないことを教え合ったり、新たに学んだことを共有し合ったりして、日々学習を深めています。

看護師として、スタートラインに立ったばかりですが、患者さんとご家族の一番の理解者であるとともに、生命と向き合う医療として確かな知識や技術を身に付けていきたいです。そして、初心を忘れず、患者さまから信頼されるよう日々努力していきたいです。

岡本 直弥 さん

(2022 年度卒業)

徳島県鳴門病院 勤務



徳島県鳴門病院は今年度から臨床研修看護師制度が始まり、外来や病院など様々な部署での研修があり、多くの研修をすることにより看護の幅が広がり看護のやりがいや患者様との信頼関係に大きく繋がると思います。研修場所では先輩看護師に分からないことを教えてもらい支えていただきながら看護業務に取り組んでいます。また、看護実践も少しずつですが自分のできることが増えています。患者様のちょっとした症状、動作に気づくためには日々勉強していかなければなりません。そのため、学生時代からの日々学習することを今後も継続していきます。できないことをできないままにせず少しずつできることを増やし、1人で看護業務ができるように自分の武器である「積極的な行動」を活かして頑張りたいです。





撮影：大杉隼平

プロフィール 1982年東京生まれ。ロンドンで写真とアートを学ぶ。
現在、雑誌やTV、広告、カタログなどで活動する傍ら、約200人の国内外の役者の宣材写真やアーティスト写真を手掛け、様々なブランドとのコラボレーション、国内外の企業の撮影と活動は多岐に渡る。また、CP+主催の「THE EDITORS PHOTO AWARD ZOOMS JAPAN 2020」では一般投票で最多票を獲得しパブリック賞を受賞。

鳴看男子より看護師を目指す皆さんに

鳴看は、県内の看護学校で唯一、男子寮が備わり、遠方にお住まいの方も安心して学校生活を送ることができます。

また、互いに切磋琢磨し、支えあう大切な仲間に出会うことができます。僕たちと一緒に看護師を目指し頑張りましょう。同じ志をもつ、仲間に出会うことを楽しみにしています。

来たれ、男子看護学生！！



鳴看で一緒に学びましょう

徳島県鳴門病院附属看護専門学校では、隣接する徳島県鳴門病院で実習を行うことができるので実践的な知識や技術を身につけるには最高の環境です。目標である看護師を目指す中で熱意を持った先生方や共に学ぶ仲間との学校生活では自分自身の人間性を高め、看護師としてのイメージを明確に持つことができます。また、就職や進学についても先生方が真摯に相談に乗って下さり、私たちの希望が尊重されます。助産師や保健師、養護教諭などの看護師以外の道も開かれており、学校で学ぶことが基礎となり進学しやすい環境が整っています。学生祭では、学生が主体となって模擬店を出店し企画しています。その他にも学校行事が豊富で充実した学校生活を送る



ことができます。看護師は患者に最も近い医療従事者であるため、看護師に求められる知識や技術、人間性は重要ですが、徳島県鳴門病院附属看護専門学校での生活を通して、たくさんの知識や技術、より良い人間性を育むのに自信を持ってすすめることができます。ぜひ、私たちと一緒に看護の道を目指しましょう。



鳴看女子
「鳴美ちゃん寮生」
の学内日のある日

8:00 起床

学校と寮が近いので「もうちょっと寝ても大丈夫!」と思ってしまう。なかなかベッドから出られません。

8:40 登校

同じ階の友達と一緒に登校。
寝坊対策として部屋から出ていない友達にはドアをコンコン。
寮は学校と隣接しているため徒歩2分で教室に到着。
渡り廊下があるため雨の日は濡れずに登校できます。
教室で課題や記録物などを提出します。

9:00～12:10 午前の講義

昼休み

寮生は自室に戻って食事をとる人が多いです。
午後の授業に必要な教材もこの時に準備しています。

13:00～16:10 午後の講義

帰宅後

寮には各部屋にキッチンがあり、それぞれが自炊しながら生活しています。
みんなで“たこパ”や“鍋パ”をすることも。
わいわいご飯を食べることも日々の息抜きに繋がっています。

22:00 門限 / 22:10 点呼

門限など寮のルールをみんなで守りながら協力して生活しています。
点呼の後に友達と課題や提出物の確認をしたり、集まって勉強をすることもあります。



鳴看女子
「鳴子ちゃん寮生」
の実習日のある日

7:00 起床

実習日は朝が早いのでスマホのアラームは15分ごとに3回かけて寝坊を予防しています。

7:40 登校

記録の提出や今日の実習目標の確認をします。

8:15 学校出発 / 8:30～15:30 実習

昼休み

お昼には寮に戻って昼食をとります。
時間がないときには即席のものに頼りがち。

15:40 帰校

1日の実習内容の報告や
実習記録の指導を受けます。

帰宅後

ほっと一息ついてから実習の記録物を書いていきます。
行き詰まった時には友達に相談をしたりアドバイスをもらいます。
同じ実習グループの友達が住んでいるため夜中に部屋まで行くことも。点呼まで仮眠をとる日もあります。

22:00 門限 / 22:10 点呼

就寝

実習日は就寝時間も遅くなります。
次の実習に備えて患者様に渡すパンフレットなどの製作をすることもあります。
いつの間にかこたつで寝てた!なんてこともしばしば発生。
翌朝必死に追い込むことも。

鳴看男子「鳴太くん寮生」
の学内日のある日

6:30 起床

テレビを見ながらご飯を食べたり髪を整える。
テストのある日は登校時間ギリギリまでテスト勉強をする。

8:20 登校

課題があるため、8時30分には提出できるようにしている。

9:00～12:10 午前の講義

講義の内容は難しいことが多いけど、講義で習うことは大切なことばかり。集中!集中!

昼休み

寮に帰って食事をとることが多いです。
冷凍食品や即席の物がほとんどです。

13:00～16:10 午後の講義

お腹いっぱい眠気が…。
気合いを入れて頑張る!

帰宅後

スマホをいじったり、ゴロゴロした後、課題をする。
残った時間で部屋の掃除・洗濯や食器洗いをする。
テストや実習もなく、時間に余裕のある時期は、寮の友達と運動をする。
勉強も大切だけど、体力も必要!

就寝

規則正しい生活を送るためにも睡眠時間は十分にとっています。

鳴看男子
「看太くん通学生」
の実習日のある日

6:15 起床

目覚まし時計とオカンの怒鳴り声で起床…。
実習日は朝が早い…。

7:30 登校

実習記録、課題の提出をします。

8:15 学校出発 / 8:30～15:30 実習

実習中には学ぶべきことがたくさん!!

昼休み

学校に帰ってきて昼食をとります。

15:40 帰校

明日の実習目標を考えます。
担当教員に1日の実習内容の報告、実習記録の指導を受けます。

帰宅後

実習で学んだことの復習、明日の実習の事前学習、
実習記録をします。
その他の課題やテスト勉強もしなければいけません。
実習中はすることがいっぱいです。

就寝

実習中は少し寝不足気味…。
課題をためすぎて「今日、寝る時間がない～」
なんてことも…。
課題は計画的に終わらせよう!!



教育熱心な教員が情熱を注ぎ、学生の学習意欲向上に努めます

看護教育

- 当校は、充実した設備を有し、最新のカリキュラムで、質の高い優れた看護教育に尽力しています
- 看護師国家試験合格へのサポートに努めるとともに、卒業後もバックアップします
- 公的機関及びその他民間機関の奨学金制度があります
- 卒業者の100%が希望施設に就職できています
- 既卒者の再就職の支援も行っています

看護実習

- 隣接の病院で行うので、時間と経費を節約でき勉学に熱中できます
- 最先端の医療機器・電子カルテなどの院内情報システムの完備した病院で、豊富な実習が実践でき、卒後臨床現場へスムーズに対応できるよう教育を行っています
- 実習指導においては、研修を受けた多くの看護師が教育にあたるので、EBN(科学的根拠)に基づいた看護を実践できます
- 母体病院の協力により統合実習(夜間実習・複数患者の受持ち)も実践しています

学生寮

学校と隣接して通学に便利

ワンルームマンション(個室)形式

- くつろぎ・憩い・語らう場とともに学習の場として清潔感あふれる快適なスペースです



校舎外観



体育館外観



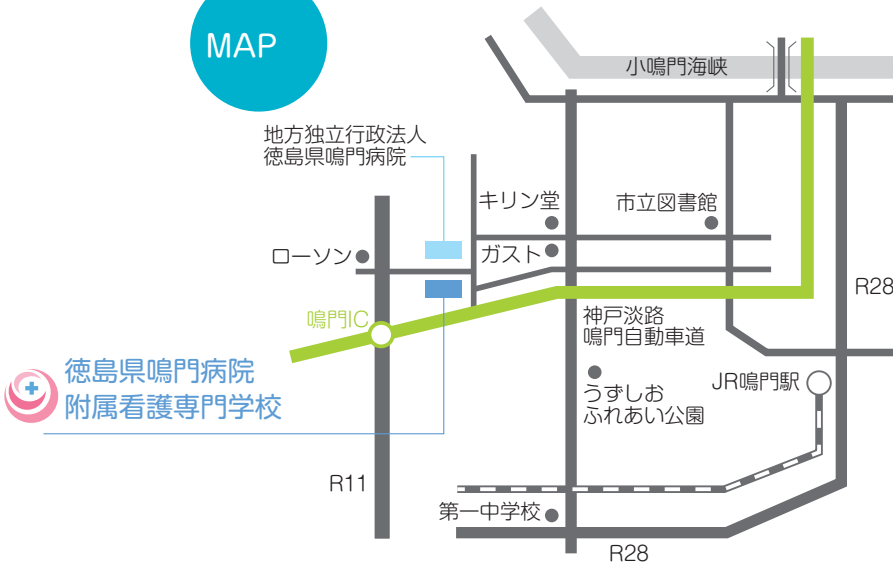
玄関ホール



体育館競技室



MAP



ACCESS

- 鳴門ICより
車にて約4分
- 徳島阿波おどり空港より
タクシーにて約15分
- 高速鳴門バス停より
鳴門市営バスにて約10分(循環バス)
タクシーにて約5分
- JR鳴門駅より
鳴門市営バスにて約10分
(北泊線・里浦粟津線・引田線・循環バス)
タクシーにて約5分
徒歩にて約20分

徳島県鳴門病院附属看護専門学校

TEL 088-686-4417 FAX 088-686-5447
〒772-0002 徳島県鳴門市撫養町斎田字見白36-1
<https://naruto-hsp.jp/school/>



▲HP



▲MAP